

経済学研究科 経済学専攻

【修士論文審査基準】

(修士学位申請資格)

修士の学位を申請することのできる者は、次に掲げる資格を全て満たす者とする。

- (1) 博士前期課程(修士課程)に2年以上在学し(見込みを含む。)、必要な研究指導を受けた上で、学則に定める修了所要単位を修得する見込みである者
- (2) 在学中である者
- (3) 研究指導教員から学位申請の承認を得ている者

(修士論文の審査)

学位審査基準は次に掲げるとおりとし、審査の合格に当たっては、全て満たすことを必須とする。

- (1) 研究の背景や目的を理解している。
- (2) 先行研究や関連する研究等、研究課題に関する知識の整理がなされている。
- (3) 研究方法の選択及び実行が適切になされている。
- (4) 論文の体裁(要旨、目次、章立て、図表、データ、式及び脚注等)が整っており、正確かつ適切にまとめられている。
- (5) 得られた結果と今後の課題について述べている。
- (6) 引用文献が適切である。
- (7) 論文内容について論理的かつわかりやすくプレゼンテーションでき、質問に正確に答えられる。

【博士論文審査基準】

(課程博士学位申請資格)

課程博士の学位を申請することのできる者は、次に掲げる資格を全て満たす者とする。

- (1) 博士後期課程に3年以上在学し(見込みを含む。)、必要な研究指導を受けた上で、学則に定める修了所要単位を修得した者(見込みを含む。)
- (2) 学術誌に3本以上の論文が掲載された者(掲載決定を含む。)又はそれと同等とみなしうる学術業績があると経済学専攻委員会が判断した者
- (3) 在学中である者
- (4) 研究指導教員から学位申請の承認を得ている者

(論文博士学位申請資格)

論文博士の学位を申請することのできる者は、次に掲げる資格を全て満たす者とする。

- (1) 学術誌に3本以上の論文が掲載された者(掲載決定を含む。)又はそれと同等とみなしうる学術業績があると経済学専攻委員会が判断した者
- (2) 本専攻に所属する専任教員の推薦がある者

(博士論文の審査)

学位審査基準は次に掲げるとおりとし、審査の合格に当たっては、全て満たすことを必須とする。

- (1) 研究の背景や目的を理解している。

- (2) 先行研究や関連する研究等、研究課題に関する知識の整理がなされている。
- (3) 研究方法の選択及び実行が適切になされている。
- (4) 論文の体裁（要旨、目次、章立て、図表、データ、式及び脚注等）が整っており、正確かつ適切にまとめられている。
- (5) 得られた結果と今後の課題について述べている。
- (6) 引用文献が適切である。
- (7) 論文内容について論理的かつわかりやすくプレゼンテーションでき、質問に正確に答えられる。
- (8) 自立した研究や高度な専門的業務に必要な能力を有すると認められる内容である。
- (9) 論文の内容に新たな知見がある。
- (10) 将来への発展の可能性が見られる。